

図1-2 調査位置平面図  
S=1/1,000

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

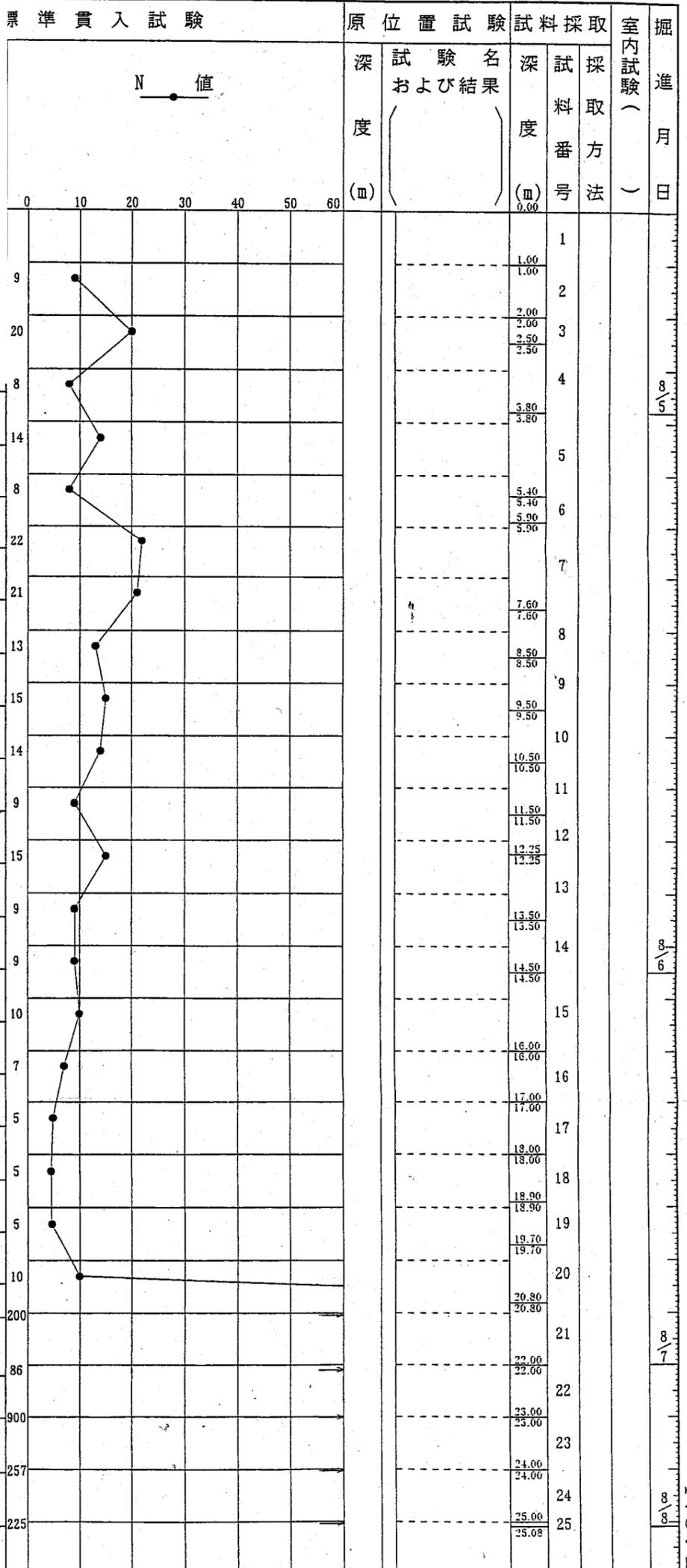
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' .52.0"			
発注機関	京都大学施設部建築課			調査期	平成14年8月5日～14年8月8日			東経	135° 40' 48.0"		
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター 電話(075-611-5281)		主任技師	甲斐 宏司		現代理	増谷 一	コア鑑定者	ア 甲斐 宏司	ボーリング責任者	伊堂寺 樹哉
孔口標高	H=	153.61m	角	180°	90°	方	北0°	270°	90°	地盤勾配	鉛直
総掘進長	25.08m		度	上	下	向	西	東	南	使用機種	試錐
									ノボリング製 KR-50型		
									ハンマー落下用具		
									半自動落下装置		
									ヤンマー製 NFAD-9型		
									ポンプ		
									カノボーリング製 V5-P型		

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験	試験採取		掘進月日
										深 (m)	10cmごと 打撃回	10 20		深 (m)	試験名および結果	
1				礫混り砂	淡黄灰	緩い	中	中～細砂主体。 φ5～15mmの亜角礫混じる。 少量粘土分混じる。 含水少ない。	1.15	2	3		1.00	1		
2	151.11	2.50	2.50						1.45				2.00	2		
3				礫混り粘土	暗褐		中位	細砂を多く含む粘土。 部分的にφ2～10mmの亜角礫混じる。	2.15	6	7		2.00	3		
4	149.81	1.30	3.80						2.45				2.50			
5				礫混り砂	淡黄灰	中くらい	中	中～細砂主体。 φ2～10mmの亜角礫混じる。 含水少ない。 風化礫混じる。	3.15	2	3		2.50			
6	148.21	1.60	5.40						3.45				5.80	4		
7				砂混り粘土	暗青灰			微細砂を含む粘土。 部分的に細礫混入。	4.15	4	6	4	14/30			
8	147.71	0.50	5.90						4.45				5.80			
9				砂	淡黄灰	中くらい	中	φ2～15mm亜角礫主体。 礫間は中～細砂充填。 風化礫多く混入。 含水少ない。	5.15	2	3	3	8/30			
10	146.01	1.70	7.60						5.45				5.40	6		
11				礫混り砂	淡黄灰	中くらい	中	中～細砂主体。 含水少ない。 φ2～5mmの風化礫混じる。 全体に粘土分混じる。 11.0m付近より、含水中位。	6.15	6	7	9	22/30			
12									6.45				5.90			
13				礫混り砂質シルト	暗青灰	中	中	細砂、微細砂を多く含むシルト。 GL-15m付近まで木片、腐植物多く含む。 GL-15m以深、色変わりする。 含水中位。 全体に風化礫混じる。	7.15	6	8	7	21/30			
14									7.45				7.60	7		
15				砂質シルト	暗青灰	中	中	微細砂を多く含むシルト。 粘性弱い。 含水多い。 部分的に細礫混入。	8.15	4	5	4	13/30			
16				シルト質砂	暗青灰	緩い	中	細砂主体。含水多い。 全体にシルト分混入。	8.45				8.50	8		
17	141.36	4.65	12.25						9.15	5	5	5	15/30			
18				粘土混り砂	暗青灰	緩い	中	中～細砂主体。粘性土全体に混入。 φ2～5mmの亜角礫混じる。 含水多い。	9.45				9.50	9		
19				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	10.15	5	5	4	14/30			
20	137.61	3.75	16.00						10.45				10.50	10		
21				シルト質砂	暗青灰	緩い	中	細砂主体。含水多い。 全体にシルト分混入。	11.15	3	2	4	9/30			
22				粘土混り砂	暗青灰	緩い	中	中～細砂主体。粘性土全体に混入。 φ2～5mmの亜角礫混じる。 含水多い。	11.45				11.50	11		
23	135.61	2.00	18.00						12.15	2	5	8	15/30			
24				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	12.45				12.25	12		
25	134.71	0.90	18.90						13.15	3	3	3	9/30			
26				粘土混り砂	暗青灰	緩い	中	中～細砂主体。粘性土全体に混入。 φ2～5mmの亜角礫混じる。 含水多い。	13.45				13.50	13		
27	133.91	0.80	19.70						14.15	3	3	3	9/30			
28				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	14.45				14.50	14		
29	132.81	1.10	20.80						15.15	3	3	4	10/30			
30				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	15.45				14.50	15		
31				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	16.15	2	3	2	7/30			
32				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	16.45				16.00	16		
33				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	17.15	2	2	1	5/31			
34				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	17.46				17.00	17		
35				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	18.15	2	2	1	5/33			
36				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	18.48				18.00	18		
37				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	19.15	2	2	1	5/32			
38				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	19.47				18.90	19		
39				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	20.15	2	3	5	10/30			
40				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	20.45	60			20.80	20		
41				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	21.00				20.80			
42				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	21.09				21.00	21		
43				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	22.00	28	30	2	60/21			
44				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	22.21	60			22.00	22		
45				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	23.00	60			23.00	23		
46				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	23.02	2			23.00			
47				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	24.00	60			24.00	24		
48				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	24.07	60			24.00			
49				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	25.00	60			25.00	25		
50				粘土混り砂	淡青灰	中くらい	中	φ2～5mmの亜角礫主体。 含水多い。 礫間は細砂、粘土で充填。	25.08	8			25.08			

資料2 クラストC 地盤調査資料



ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' 52.0"				
発注機関	京都大学施設部 建築課			調査期間	平成14年8月9日 ~ 14年8月12日			東経	135° 40' 50.0"		
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター 電話(075-611-5281)	主任技師	甲斐 宏司		現場代理人	増谷 一	コア鑑定者	甲斐 宏司		ボーリング責任者	伊堂寺 樹哉
孔口標高	H=152.12m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試験機	カノボーリング製 KR-50型	
総掘進長	24.00m	度		向				エンジン	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
									ポンプ	カノボーリング製 V5-P型	

標尺 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験					原位置試験	試料採取		掘進月日
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 (m)	試験名		深 (m)	採取方法	
151.52	0.60	0.60		礫混り質砂	淡灰			中~細砂主体。全体に粘土多く含む。φ2~10mmの角礫混じる。草根混入。	1.15	1	1	3			0.60	1	
148.52	3.00	3.60		砂質粘土	褐灰		軟らかい	細砂を多く含む粘土。粘り気比較強い。腐植物混入。細礫点在する。GL-2.2m以深より粗砂多く混入。部分的にφ2~10mmの角礫混じる。風化礫混じる。	1.49	1	1	3			2.20	2	
144.52	4.00	7.60		礫混り砂	淡褐		中くらい	中~細砂主体。φ2~10mmの垂角礫混じる。全体に粘性土混入。風化礫混じる。含水少ない。部分的に薄層の粘土を挟む。	2.15	5	4	14			3.60	3	
143.07	1.45	9.05		礫混り粘土	淡灰		中位	細砂を含む粘土。φ5~10mmの垂角礫混入。全体に細砂混じる。粘り気弱い。	2.45	6	6	18			4.00	4	
141.02	2.05	11.10		礫混り砂	淡褐		中くらい	中~細砂主体。φ2~10mmの垂角礫混入。風化礫混じる。含水少ない。	3.15	6	6	18			4.50	5	
140.12	0.90	12.00		砂質シルト	暗灰		硬い	細砂、微細砂を多く含むシルト。木根、木片を多く含む。木片は炭化気味。	3.45	5	5	15			5.50	6	
139.42	0.70	12.70		礫混り砂	淡褐		密な	細砂主体。φ5~10mmの垂角礫混入。含水少ない。風化礫混じる。	4.15	5	5	15			6.50	7	
137.12	2.30	15.00		基盤岩強風化帯	淡褐		中くらい	砂岩、頁岩強風化帯。強風化し、土砂化する。採取試料は砂状となる。マトリックスは細砂、粘土で充填。	5.15	2	3	8			7.60	8	
128.12	9.00	24.00		基盤岩風化帯	淡褐		黄褐	基盤岩(砂岩・頁岩)。風化進行し指圧にて砂状となる。採取コアは褐色に変色する。GL-17~21m間は亀裂多く岩片~短柱状コアにて採取される。GL-21.0m以深より比較的新鮮となる。亀裂多く亀裂面は褐色に風化する。岩片自体は硬質。	6.15	3	3	9			9.05	9	
									7.15	4	4	13			10.00	10	
									8.15	2	3	7			11.10	11	
									9.15	7	9	25			12.00	12	
									10.15	4	4	12			12.70	13	
									11.15	4	4	13			14.00	14	
									12.15	13	16	46			15.00	15	
									13.15	6	5	19			15.80	16	
									14.15	5	6	18			17.00	17	
									15.15	21	21	60			18.00	18	
									16.00	60	7	60			18.00	19	
									17.00	60	2	60			20.00	20	
									18.00	貫入不能		60			21.00	21	
									19.00	貫入不能		60			22.00	22	
									20.00	貫入不能		60			23.00		
									21.00	貫入不能		60			24.00		
									22.00	貫入不能		60					
									23.00	貫入不能		60					
									24.00	貫入不能		60					

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' 51.0"								
発注機関	京都大学施設部 建築課			調査期間	平成14年8月9日 ~ 14年8月12日			東経	135° 40' 47.0"							
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター 電話(075-611-5281)		主任技師	甲斐 宏司		現場代理人	増谷 一		コ 鑑 定 者	甲斐 宏司						
ボーリング責任者	松田 謙三															
孔口標高	H=149.13m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機 カノホーリンク製 KR-SH型		ハンマー	落下用具 半自動落下装置	
総掘進長	22.00m		エンジン	ヤンマー製 NFAD-6型			ポンプ	カノホーリンク製 V5-P型								

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 (m)	採取方法	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 (m)							
148.83	0.30	0.30		砂礫	褐灰			φ3~5mmの亜角礫主体。木根多い。	1.15	6	5	3	14			0.30			
148.13	0.70	1.00		粘土混り砂礫	黄褐灰			φ5mmの亜角礫主体。所々粘性強い所挟む。	1.45	2	3	4	9			1.00			
				砂礫	黄褐灰	中くらい		φ5~10mmの亜角礫主体。礫間には中~細砂で充填。1.50~2.00m間 φ100mm前後の玉石点在する。3.00m以深 部分的に粘土分多い所挟む。風化雑混する。含水少ない。	2.15	2	3	4	9			2.00			
144.13	4.00	5.00		基盤岩 強風化	黄褐灰	中くらい		砂岩、頁岩強風化帯。強風化し、土砂化する。採取試料は砂礫状となる。マトリックスは中~細砂、粘土で充填。	2.45	4	2	5	11			3.00			
142.13	2.00	7.00		基盤岩 風化帯	暗褐灰、暗灰			基盤岩(頁岩)。全体に風化進行する。7.00~10.00m間、φ5~10mmの角礫状コア主体。部分的に風化激しく粘土及び砂状となる。砂礫状コアで採取される。	3.15	4	2	5	11			4.00			
								8.00~9.00mの間、φ30~50mmの礫状コア含む。	3.45	4	4	4	12			4.00			
								10.00~11.00mの間、φ10~15mmの角礫状コア主体。3~5cmの岩片状コアで採取される。	4.15	4	4	4	12			5.00			
								11.00~12.00mの間、岩片状コア主体。5cm程度の短柱状コアで採取される。	4.45	5	6	5	16			5.00			
								12.00~15.00mの間、φ10mmの角礫状コア主体。部分的に風化激しく砂礫状で採取。風化変色著しい。	5.15	5	6	5	16			6.00			
								6L-15.0m以深、岩片状~短柱状コアで採取される。比較的新鮮となる。岩自体は硬質。	5.45	8	6	5	19			6.00			
								20.00~22.00mの間、5~15cm柱状コア主体。最長コア20cm。	6.15	6	6	5	19			7.00			
									6.45	60	60	60	138			7.00			
									7.13	60	60	60	129			8.00			
									8.00	14	14	14	129			8.00			
									8.14	25	29	6	60			9.00			
									9.15	60	60	60	82			9.00			
									9.37	60	60	60	82			10.00			
									10.00	4	4	4	450			10.00			
									10.04	60	60	60	450			10.00			
									11.00	貫入不能	60	0				11.00			
									11.00	貫入不能	60	0				11.00			
									12.00	貫入不能	60	0				12.00			
									12.00	25	27	8	60			12.00			
									12.50	60	60	60	78			13.00			
									12.73	60	60	60	78			13.00			
									13.00	12	12	12	150			15.00			
									13.12	60	60	60	150			15.00			
									14.00	11	11	11	164			14.00			
									14.11	60	60	60	150			15.00			
									15.00	12	12	12	150			15.00			
									15.12	貫入不能	60	0				16.00			
									16.00	貫入不能	60	0				16.00			
									17.00	貫入不能	60	0				17.00			
									17.00	貫入不能	60	0				17.00			
									18.00	貫入不能	60	0				18.00			
									18.00	貫入不能	60	0				18.00			
									19.00	貫入不能	60	0				19.00			
									19.00	貫入不能	60	0				19.00			
									20.00	貫入不能	60	0				20.00			
									20.00	貫入不能	60	0				20.00			
									21.00	貫入不能	60	0				21.00			
									21.00	貫入不能	60	0				21.00			
									22.00	貫入不能	60	0				22.00			
									22.00	貫入不能	60	0				22.00			

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo. table with empty cells for recording data.

事業・工事名

シートNo.

Header information table including borehole name (No. 4), location (Kyoto University), dates (Aug 5-8, 2014), and equipment details (KR-SH type, NFAD-6 engine).

Main data table with columns for depth (m), soil type, color, and test results. Includes a graph of blow counts (N-value) vs depth and soil descriptions for 27 layers.

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 5		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' 53.0"			
発注機関	京都大学施設部 建築課			調査期間	平成14年8月6日 ~ 14年8月8日			東経	135° 40' 49.0"		
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター 電話(075-611-5281)		主任技師	甲斐 宏司		現場代理人	増谷 一		コ 鑑定者	甲斐 宏司	
ボーリング責任者	齊藤 清										
孔口標高	H=152.52m		角	180° 上		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	水平 0°	
総掘進長	22.00m		度	下 0°		向			使用機種	試錐機 カノホーリンク製 KR-50型	
									ハンマー落下用具	半自動落下装置	
									エンジン	ヤンマー製 NFAD-7型	
									ポンプ	カノホーリンク製 V5-P型	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日		
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (g/cm)	0								10	20
1		150.52	2.00	2.00	礫混り砂	淡黄褐	緩い	中~細砂主体。含水少ない。 φ5~20mmの礫混じる。 局部的にφ100~150mmの玉石点在。 全体に粘土帯びる。 上部草根混入。	0.15	2	4	4	30	10		1.00					
2									1.15	2	2	2	6	6	1.00						
3									1.45	6	6	5	17	17	2.00						
4									2.15	6	6	5	17	17	2.00						
5									2.45	4	6	5	15	15	3.00						
6									3.15	4	6	5	15	15	3.00						
7									3.45	4	4	3	11	11	4.00						
8									4.15	4	4	3	11	11	4.00						
9									4.45	4	3	3	10	10	5.00						
10									5.15	4	3	3	10	10	5.00						
11		141.72	8.80	10.80	礫混り粘土質砂	黄褐~暗黄褐	中くらい~緩い	中~細砂主体。 GL-5.0m以浅含水少ない。 部分的に薄層の粘土挟む。 φ5~15mmの垂角礫混入。 風化礫混入。 GL-5.0m以深やや含水多くなる。 GL-5.0~-6.0m間粗~中砂主体となる。 GL-6.0m以深全体に粘土の混入多くなる。 GL-6.0~-7.0m間φ5~20mmの垂角礫の混入多い。 GL-8.0~-9.0m間粗~中砂主体となる。 GL-5.1m宙水確認。 GL-9.1m以深青灰色の砂層挟む。	8/6 5.10	3	3	3	9	9	6.00						
12									6.15	3	3	3	9	9	6.00						
13									6.45	4	4	7	15	15	7.00						
14									7.15	4	4	7	15	15	7.00						
15									7.45	4	3	4	11	11	8.00						
16									8.15	4	3	4	11	11	8.00						
17									8.45	2	6	4	12	12	9.00						
18									9.15	2	2	3	7	7	9.00						
19									9.45	2	2	3	7	7	10.00						
20									10.15	2	2	3	7	7	10.00						
21									10.45	3	5	6	14	14	10.80						
22									11.15	3	5	6	14	14	10.80						
23									11.45	4	4	5	13	13	12.00						
24									12.15	4	4	5	13	13	12.00						
25									12.45	2	4	5	11	11	12.80						
26									13.15	2	4	5	11	11	12.80						
27									13.45	11	11	14	36	36	15.70						
28									14.15	11	11	14	36	36	15.70						
29									14.45	8	10	9	27	27	15.00						
30									15.15	8	10	9	27	27	15.00						
31		136.52	2.30	16.00	基盤岩強風化帯	淡黄灰	中くらい~密な	砂岩、頁岩強風化帯。 強風化し、土砂化する。 採取試料は砂状となる。 部分的に風化礫混入。	15.45	60			60	60	16.00						
32									16.00	15			15	15	16.50						
33									16.15	60			60	60	16.50						
34									17.00	5			5	5	17.00						
35									17.05	60			60	60	17.00						
36									18.00	60			60	60	18.00						
37									18.10	60			60	60	18.00						
38									19.00	貫入不能			60	60	19.00						
39									19.00	貫入不能			60	60	19.00						
40									20.00	60			60	60	20.00						
41									20.05	5			5	5	20.00						
42									21.00	60			60	60	21.00						
43									21.10	60			60	60	21.50						
44									22.00	貫入不能			60	60	22.00						
45									22.00	貫入不能			60	60	22.00						

ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 6		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' 51.0"						
発注機関	京都大学施設部 建築課			調査期間	平成14年8月6日 ~ 14年8月8日			東経	135° 40' 51.0"					
調査業者名	株式会社 キンギ地質センター 電話(075-611-5281)		主任技師	甲斐 宏司		現代理人	増谷 一		コ鑑定者	甲斐 宏司		ボーリング責任者	山内 法恭	
孔口標高	H=147.94m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製 D0-C型		ハンマー	落下用具 半自動落下装置	
総掘進長	18.00m		度					エンジン	ヤソマ-製 NFAD-8型		ポンプ	東邦地下工機製 BG-3型		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
1	146.44	1.50	1.50	粘土混り砂礫	黄褐色	非常に緩い		φ5~30mmの亜円~亜角礫主体。隙間は中~細砂・粘土で充填。草根混入。	0.15	1	1	2	30					
2				礫混り粘土	黄茶~黄褐色	軟らかい		全体に細砂を多く含む粘土。φ5~20mmの礫混入。下部やや粘り気強くなる。上部に比べ下部含水多くなる。	1.15	1	1	2	30					
3	144.69	1.75	3.25	粘土混り砂礫	黄褐色	密な		φ5~20mmの亜角礫主体。隙間は中~細砂で充填。上部粘土の混入多い。	1.45	1	1	3	30					
4				粘土混り砂礫	黄褐色	密な		φ5~20mmの亜角礫主体。隙間は中~細砂で充填。上部粘土の混入多い。	2.15	1	1	3	30					
5	142.94	1.75	5.00	礫混り砂	淡黄褐色	中くらい		中~細砂主体。含水少ない。φ5~10mmの亜角礫混入する。全体に粘土帯びる。	2.45	5	5	6	16					
6				礫混り砂	淡黄褐色	中くらい		中~細砂主体。含水少ない。φ5~10mmの亜角礫混入する。全体に粘土帯びる。	3.45	13	13	14	40					
7	141.49	1.45	6.45					基礎岩(砂岩・頁岩)。風化進行する。貫入試験で採取される試料は砂礫状となる。	4.15	6	10	10	26					
8								礫は風化し砕け易い。	4.45	13	13	14	40					
9								GL-11.0m以深より硬質になる。	5.15	6	10	10	26					
10								亀裂面に風化変質が認められる。	5.45	4	4	4	12					
11								岩片自体は比較的硬質。	6.15	4	4	4	12					
12								GL-14.0m以深より岩片~短柱状コアで採取される。	6.45	37	23	4	60					
13								コアは比較的新鮮。	7.15	4	4	4	12					
14									7.29	25	35	7	60					
15									8.15	36	27	5	63					
16									8.32	36	27	5	63					
17									9.00	61			61					
18	129.94	11.55	18.00						9.15	61			61					
19									10.00	貫入不能			60					
20									10.10	貫入不能			60					
21									11.00	貫入不能			60					
22									11.00	貫入不能			60					
23									12.00	貫入不能			60					
24									12.07	貫入不能			60					
									13.00	貫入不能			60					
									13.06	貫入不能			60					
									14.00	貫入不能			60					
									14.00	貫入不能			60					
									15.00	貫入不能			60					
									15.05	貫入不能			60					
									16.00	貫入不能			60					
									16.00	貫入不能			60					
									17.00	貫入不能			60					
									17.00	貫入不能			60					
									18.00	貫入不能			60					
									18.00	貫入不能			60					



ボーリング柱状図

調査名 京都大学桂団地総合研究棟IV新営に伴う地盤調査

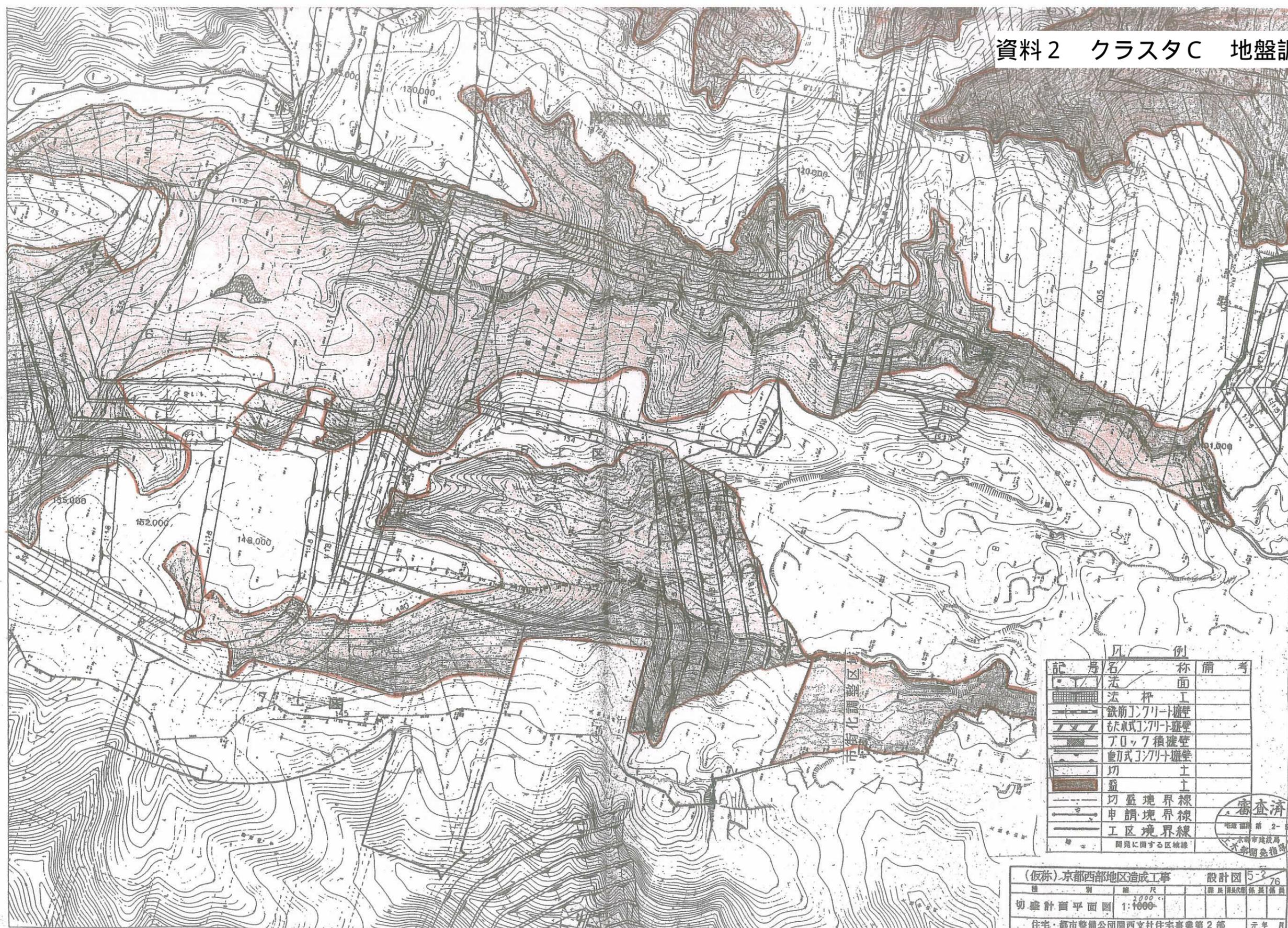
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 8		調査位置	京都市西京区御陵細谷6-1 京都大学桂団地構内			北緯	34° 58' 48.0"			
発注機関	京都大学 施設部 建築課			調査期間	平成14年8月8日 ~ 14年8月12日			東経	135° 40' 49.0"		
調査業者名	株式会社 キンキ地質センター 電話(075-611-5281)		主任技師	甲斐 宏司		現代理人	増谷 一		コ 鑑定者	甲斐 宏司	
ボーリング責任者	山内 法恭										
孔口標高	H=146.63m		角	180° 上		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総掘進長	21.13m		使用機種	東邦地下工機製 DO-C型			ハンマー落下用具	半自動落下装置			
			エンジン	ヤンマー製 NFAD-8型			ポンプ	東邦地下工機製 BG-3型			

標尺 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試料採取		掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値		深 (m)	試料採取番号		
146.13	0.50	0.50		玉石混り粘土	黄灰	緩い		65~20mmの亜円礫主体。木片混入。φ100mm以上の玉石点在。	0.15	4	3	4	30	11		1	
				玉石混り粘土	黄灰	緩い		細砂を含む粘土。φ10~20mmの亜円礫混入(チャート)。木片混入。GL-1.6mより色変わりする。風化礫混じる。	1.15	1	1	2	30	2		2	
				礫混り粘土	黄灰	暗灰	緩い		2.15	2	3	3	8	8		3	
				粘土	黄灰	暗灰	緩い		2.45							4	
				粘土	黄灰	暗灰	緩い		3.15	3	1	1	5	5		5	
				粘土	黄灰	暗灰	緩い		3.45							6	
142.38	3.75	4.25		粘土混り砂礫	淡灰	黄褐	密なく中ぐらい	φ5~20mmの亜角礫主体。礫間は粘土及び中~細砂で充填。含水少ない。風化礫混じる。	4.15	2	10	14	26	26		5	
				粘土混り砂礫	淡灰	黄褐	密なく中ぐらい		4.45	4	6	4	14	14		6	
				粘土混り砂礫	淡灰	黄褐	密なく中ぐらい		5.15	4	2	8	14	14		7	
139.63	2.55	6.80		粘土混り砂	暗青灰	中ぐらい	中ぐらい	細砂主体。全体に粘性帯びる。下部少量細礫混じる。含水少ない。	6.45	7	8	10	25	25		8	
				粘土混り砂	暗青灰	中ぐらい	中ぐらい		7.15	9	8	7	24	24		9	
138.03	1.80	8.60		砂	淡青灰	中ぐらい	密なく中ぐらい	中~細砂主体。全体に粘土帯びる。少量細礫混じる。含水少ない。下部粘土の混入多くなる。	8.45	8	9	10	27	27		10	
				砂	淡青灰	中ぐらい	密なく中ぐらい		9.15	8	8	10	26	26		11	
				砂	淡青灰	中ぐらい	密なく中ぐらい		10.15	8	8	10	26	26		12	
134.88	3.15	11.75		粘土質砂	青灰	中ぐらい	中ぐらい	細砂主体。含水少ない。腐植物混入。	11.15	16	14	13	43	43		13	
134.03	0.85	12.60		粘土質砂	青灰	中ぐらい	中ぐらい		11.45	6	7	7	20	20		14	
				粘土質砂	青灰	中ぐらい	中ぐらい		12.15	7	6	9	22	22		15	
132.63	1.40	14.00		粘土混り砂	暗灰	中ぐらい	中ぐらい	細砂主体。粘土を多く含む砂。含水少ない。	13.15	7	6	9	22	22		16	
				粘土混り砂	暗灰	中ぐらい	中ぐらい		13.45	5	6	6	17	17		17	
				砂	暗灰	中ぐらい	中ぐらい	中~細砂主体。少量細礫混じる。GL-15.0m以深、有機物若干混入する。含水少ない。	14.15	5	7	8	20	20		18	
				砂	暗灰	中ぐらい	中ぐらい		14.45	5	7	8	20	20		19	
130.53	2.10	16.10		基盤岩強風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい	砂岩・頁岩強風化帯。風化進行する。全体に風化変色著しい。貫入試験で採取される試料は砂~砂礫状となる。GL-16.1m、-18.0m付近、風化進行し粘土化する。	15.15	6	7	9	22	22		20	
				基盤岩強風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		16.15	6	7	9	22	22		21	
				基盤岩強風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		16.45	13	14	18	45	45		22	
				基盤岩強風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		17.15	6	8	11	25	25		23	
127.63	2.90	19.00		基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい	基盤岩(砂岩・頁岩)。全体に風化進行するも上部より硬くなる。岩芯が残り礫状となる。	17.45	11	14	34	59	59		24	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		18.15	24	36	5	60	60		25	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		18.45	60	13	60	13	138		26	
125.50	2.13	21.13		基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		19.15	60	13	60	13	138		27	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		19.45	60	13	60	13	138		28	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		20.15	60	13	60	13	138		29	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		20.30	60	13	60	13	138		30	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		21.00	60	13	60	13	138		31	
				基盤岩風化帯	黄褐	黄褐	密なく中ぐらい		21.13	60	13	60	13	138		32	

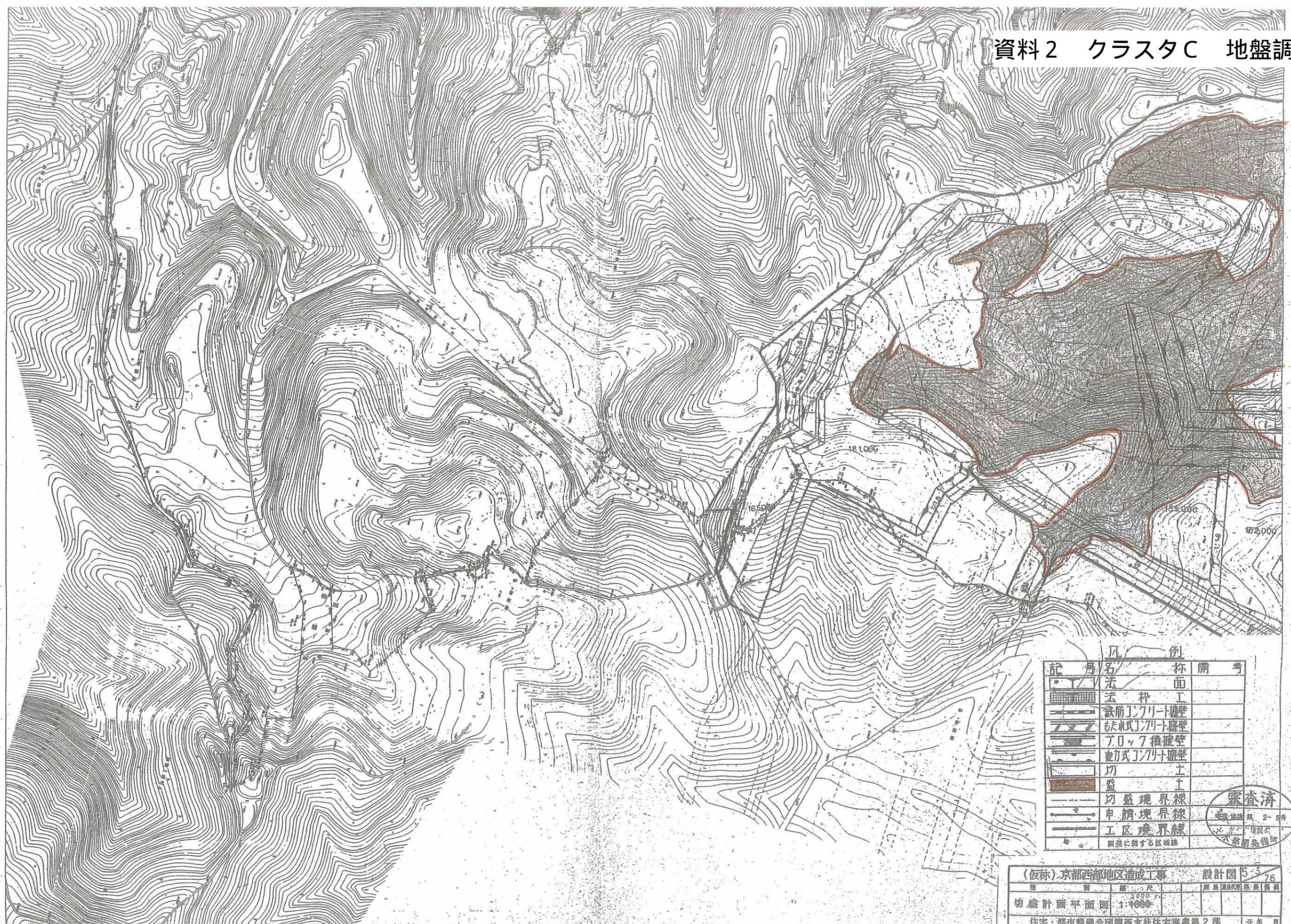


記号	名称	備考
[Symbol]	法 面	
[Symbol]	法 柵 工	
[Symbol]	鉄筋コンクリート擁壁	
[Symbol]	木式コンクリート擁壁	
[Symbol]	ブロック積擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	切 土	
[Symbol]	盛 土	
[Symbol]	切盛境界線	
[Symbol]	申請境界線	
[Symbol]	工区境界線	
[Symbol]	開発に関する区域線	

審査済  
 宅地調査 第 2-5号  
 本市建設局  
 大塚明彦 指図

(仮称) 京都西部地区造成工事		設計図 5-2
種 別	縮 尺	原 尺 縮 尺 縮 尺 縮 尺
切盛計画平面図	1:1000	
住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第2部		元年 月

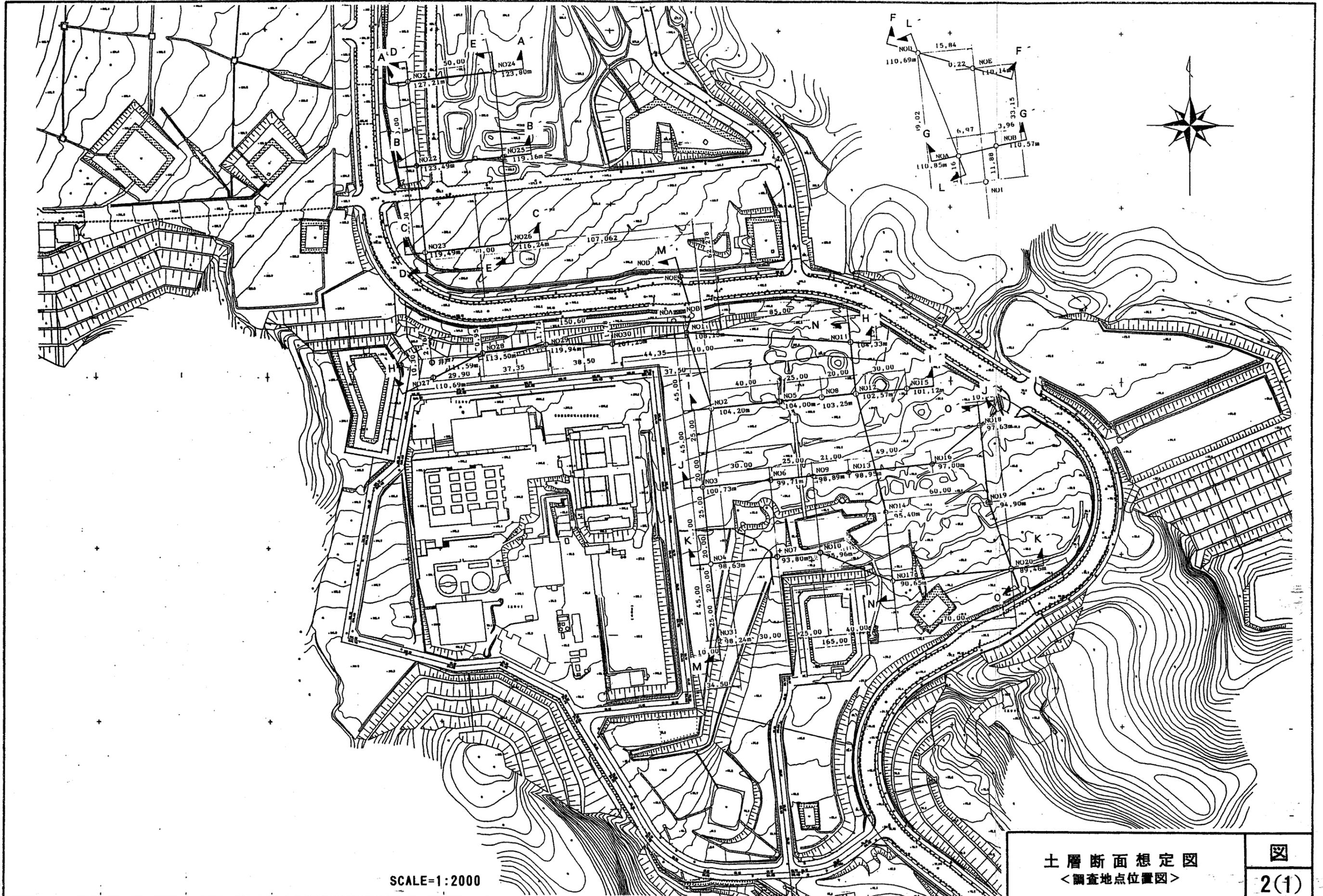
住都公団による造成図



記号	名称	備考
[Symbol]	法面	
[Symbol]	法杆工	
[Symbol]	鉄筋コンクリート擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	重力式コンクリート擁壁	
[Symbol]	切土	
[Symbol]	盛土	
[Symbol]	切盛境界線	
[Symbol]	申請境界線	
[Symbol]	工区境界線	
[Symbol]	別表に別する区境界線	

(仮称) 京都西部地区造成工事 設計図 5-3 76  
 切盛計画平面図 1:1000  
 住宅・都市整備公団関西支社住宅事業第2部 元年月

住都公団による造成図



SCALE=1:2000

土層断面想定図  
<調査地点位置図>

図  
2(1)



ボーリング柱状図

調査名 京都大学(桂)総合研究棟I等新営に伴う地盤調査等

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	22	調査位置	京都府京都市西京区御茶屋山1-7他			北緯	34°58'33.0"									
発注機関	文部省京都大学施設部			調査期間	2000年7月31日~2000年8月2日			東経	135°41'1.0"							
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話(06-6384-5321)		主任技師	斉藤 長太郎		現代理人	大野 貴史		コ鑑定者	斉藤 長太郎						
ボーリング責任者	森本 繁															
孔口標高	+123.49m	角	180° 上 90° 下		方	北0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	水平0° 鉛直90°		使用機種	試験機 吉田 YBM-05		ハンマー 落下用具	自動モンケン	
総掘進長	10.43m	度			向			エンジン	ヤンマー NFA-80		ポンプ	カノー V5-P				

標尺 (m)	層高 (m)	深厚度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内 水位 (m) 測定 月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘 進 月 日		
										深 度 (m)	10cm毎の 打撃回数			N 値	深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果	深 度 (m)		試 料 採 取 方 法	
											0 10 20	10 20 30	20 30 40							打撃 回数 / 貫入 量 (cm)
1				シルト混じり砂礫	茶	緩い		垂円~垂角礫(φ2~60mm) 礫はφ5~60mm主体 コア長10~20cmの玉石点在 シルト分不規則に含む 木片少量混入。粒径は様々である 礫は角張っている 礫は丸味を帯びている(盛土)	7/31 0.00 無水掘りにより開孔したが水位認められず	0.15	1	1	2	4	30	4				
2				シルト混じり砂	灰褐色	密な		風化角礫混入。粘性強い		0.45	1	1	2	4	30	4				
3				風化岩	灰褐色			岩型を示すも風化され指圧でシルト混じり砂状になる 6.90mより未風化礫が角礫状に残る 逸水有り。固結している		1.15	1	2	1	4	30	4				
4				風化岩	暗灰			クラック面は酸化され指圧で砂礫状に砕ける 逸水有り。固結している		1.45	1	2	1	4	30	4				
5										2.25	2	2	2	6	30	6				
6										2.55	2	2	2	6	30	6				
7										3.15	8	12	13	33	30	33				
8										3.45	8	12	13	33	30	33				
9										4.15	13	15	15	43	30	43				
10										4.45	13	15	15	43	30	43				
11										5.15	15	25	7	60	27	67				
12										5.42	15	25	7	60	27	67				
13										6.15	11	14	19	44	30	44				
14										6.45	60	6	6	60	6	60				
15										7.00	60	6	6	60	6	60				
16										7.06	60	6	6	60	6	60				
17										8.00	45	15	2	60	12	150				
18										8.12	45	15	2	60	12	150				
19										9.05	60	8	8	60	8	225				
20										9.13	60	8	8	60	8	225				
21										10.15	13	20	27	60	28	64				
22										10.43	13	20	27	60	28	64				

ボーリング柱状図

調査名 京都大学(桂)総合研究棟I等新営に伴う地盤調査等

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	23	調査位置	京都府京都市西京区御茶屋山1-7他			北緯	34°58'33.0"				
発注機関	文部省京都大学施設部			調査期間	2000年8月1日~2000年8月2日			東経	135°41'1.0"		
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話(06-6384-5321)		主任技師	斉藤 長太郎		現場代理人	大野 貴史		コピ定者	斉藤 長太郎	
ボーリング責任者	森本 繁		試験機	吉田 YBM-05		ハンマー落下用具	自動モンケン				
孔口標高	+119.49m	角			方			地盤勾配			
総掘進長	15.07m	度			使用機種	エンジン ヤンマー NFA-80		ポンプ	カノー V5-P		

標尺 (m)	層高 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
										深 (m)	10cm毎の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)							
1	0.60	0.60		シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い	亜円~亜角礫 (φ2~60mm) 礫はφ5~60mm主体 コア長7cm程度の玉石点在 表面5cmアスファルト存在 0.05~0.20mm間砕石挟む 粒径は様々である 礫は角張っている 礫は丸味を帯びている	8/1 2.31 ≡ 無水掘り水位	0.15	1	2	1	30	4				
2				粘土混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い	亜円~亜角礫 (φ2~60mm) 礫はφ5~60mm主体 コア長10~20cm程度の玉石点在 所々粘土分多量含む 下部10cmシルト混じり細砂挟む 腐植物少量混入。粒径は様々である 礫は角張っている 礫は丸味を帯びている。崩壊激しい 逸水有り。色調の変化が激しい		1.15	1	1	1	30	3				
3				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			2.15	2	1	3	30	6				
4				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			2.45	2	1	3	30	6				
5				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			3.15	1	2	1	30	4				
6				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			3.45	1	2	1	30	4				
7				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			4.15	1	1	1	30	3				
8				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			4.45	1	1	1	30	3				
9				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			5.15	1	1	1	30	3				
10				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			5.45	1	1	1	30	3				
11				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			6.15	1	4	59	60	129				
12				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			6.29	1	4	59	60	129				
13				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			7.15	1	1	1	30	3				
14				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			7.45	1	1	1	30	3				
15				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			8.15	1	1	1	30	3				
16				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			8.45	1	1	2	30	4				
17				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			9.15	2	6	10	30	18				
18				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			9.45	60			60	200				
19				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			10.05	60			9	200				
20				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			10.14	60			9	200				
21				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			11.00	60			6	300				
22				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			11.06	60			6	300				
23				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			12.00	42	18	2	60	150				
24				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			12.12	42	18	2	12	150				
25				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			13.00	60			9	200				
26				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			13.09	60			9	200				
27				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			14.00	60			5	360				
28				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			14.05	60			5	360				
29				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			15.00	60			7	257				
30				シルト混じり砂	黄灰褐	緩い	非常に緩い			15.07	60			7	257				





